

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和元年十二月十三日発行 (毎月一回十三日発行)
定価 五〇〇円

第939号

龍

跳

春季昇段・級試験課題発表

第七十六卷

1 月号

高知
龍跳書道会

竹村子雀書

福壽綿々長似海
春風浩浩氣如河

昭和廿一年三月廿一日
子雀

福壽綿々長似海。春風浩浩氣如河。

草書千字文

唐 懷素

詩 去 法 學 何 道 約 法 韓 契 机 再 起
 剪 靴 牧 用 甲 官 精 官 歲 少 洋 馳
 卷 丹 子 九 州 看 沁 石 良 素 再 殺 宗 恒
 成 祥 主 之 多 席 乃 紫 雲 輕 田 赤 城 忌

踐土會盟。何遵約法。韓弊煩刑。起翦頗牧。用軍取精。宣威沙漠。馳譽丹青。九州禹跡。百郡秦并。嶽宗恆岱。禪主
 云亭。鴈門紫塞。鷄田赤城。昆

踐土に會盟す。何は約法に遵い、韓は煩刑に弊れたり。起翦頗牧は、軍を用いること最も精し、威を沙漠に宣べ、譽れを丹青に馳す。九州は禹の跡なり、百郡は秦の并せたるなり。嶽は恒岱を宗とし、禪は云亭を主とす。鴈門紫塞。鷄田赤城。

草書千字文 唐 懷素

懷素（七二五―七八五）は唐の僧で、長沙の人。

貧乏で紙が買えず芭蕉の葉に書いた、とも云われています。
この千字文は一字千金といわれ（千金帖）の名もあります。
一筆一筆に思い入れが深く豊かで味わいがある。

唐時代の名作と一緒に学習しましょう。

大黑仙雲書

雨竹階心白水聲
急起

新松官月色
遲

仙雲山人書

小川理香書

雲歸時帶雨
數点木落又添山一峰

雲歸時帶雨
數点木落又添山一峰

理香書

梅
川
桂
龍
書

偏
宜
上
酒
樓

偏へんえに宜よろし
酒樓しゅうろうに上のぼるに

梅川桂龍書

故人京
洛滿

故人こじん
京洛けいらくに満みつ

1月20日締切

福原曉雲書

暮色一樓山

暮色一樓山

出間桂堂臨

草書千字文

沙漠馳譽丹青

沙漠馳譽丹青

江西澄翠書

燭生柳岸梅半是香
雪壓梅園半是香

江西澄翠書

大崎花梢書

星垂平野月
湧大江流

大崎花梢書

中平美峰臨

智照勝詮
弘惠福勝
興春榮春
千光

美峰山

市原處艸臨

每慰人心
方期戩穀
何圖逆賊
聞豐

市原處艸

得必在錄
安邦類後
著之志而
心安

大八木洋女

吾方東顧
心他过
動心為總
法之

岡本空仁

靈物相得
忘形軀鶴
有冲宵心
龜厥

山下枝雪

故山陽太守
開內詹
季直之策
尅期成

岡林邦心

不知細
氣誰哉
出二月
春風似
剪刀

氏原美泉

欲惠澄
山師從
人般
美福勝
恭觀師

藤原朱鳳

隨宜
乃至
蒙亦
皆得
語也
去為
本乎也

大石千施

私為
不古
心蒙
之乎
一兒
乃難
以吾
古時
志

岡林翠

乃其
總紀
而未
詳其
始末
也且
元為

高橋桜芳

粗り
乱中
卷但
烟霧
忽
中大
灰遙
霧有
枝梅

奥崎躍翠

条幅当選作品

福原 曉雲 選評

★天位

大八木洋女君 画仙紙の質が良過ぎてこれにポイント三箇所く

らい墨量が欲しい。アピール不足、落款左行へ。

岡本空仁君 十七帖臨、墨量が利いて、流れ良く、迫力有。

山下枝雪君 誠実な臨、少し棒線が多いようです。線に太細を

付けて下さい。

岡林邦心君 几帳面な臨に過ぎて、動きの中で渴筆が出る様、

遅速を付けて下さい。

氏原美泉君 墨量豊かだが、作品が暗くない、誠実。

★地位

藤原朱鳳君 墨量は良く取り入れてはいるが、文字間に気を付

けて、布地章法を学んで下さい。

大石千施君 やゝ動き堅さあるも流れ良、努力作。

岡林 翠君 動き大胆だが、これにゆつたりと運筆して欲しい

もの。

★人位

高橋桜芳君 筆圧と筆力を付けて下さい。

奥崎躍翠君 式拾文字混雑、文字の大小、文字間を整理するこ

とです。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

12月の月例審査と忘年会は次のとおりです。

月例審査 12月22日(日) 午後1時~3時

忘年会 " 審査会終了後
(会費 3,000円)

場 所 いずれも高知城ホール

☆新年試筆作品締切りも当日です。出品料は5,000円です。

☆女流展作品の下見会を、1月と2月の月例審査終了後に
行います。(参加料500円)

天
地
希
望
の

1月20日縮切

冬
休
期
暇

1月20日縮切

天然の美然

1月20日締切

小学五年課題
山下枝雪書

願清

いさ

1月20日縮切

の成
日人

1月20日縮切

小学三年課題

大原桂園書

雪白

い

1月20日縮切

たか
る

1月20日縮切

小学一年・ようち・ほいく課題
山本瑞草書

こま

1月20日縮切

学校名	て	な	間	が	草	森
	き	魚	に	満	が	に
	ら	が	は	ち	生	は
四	り	、	小	て	え	い
年	と	白	川	い	、	ろ
級 段	光	い	が	た	鳥	い
氏 名	っ	は	流	。 森	や	ろ
	た	ら	れ	と 森	せ	な
	。	を	、	の 森	み	木
		見	小	の	の	や
		せ	さ		声	

学校名	が	か	び	わ	と	
	聞	げ	ま	ざ		ふ
	こ	か	し	と	三	と
三年	え	ら	た	ひ	年	ん
	て			っ	と	か
級段	き	お	ぬ	く	う	ら
氏名	ま	も	る	り	げ	は
	し	し	で	返	に	ね
	た	ろ	の	り	行	起
	た	い	木		き	き
		歌	の	転		る

がっこう	し	で	き	え	
	く	あ	み	る	親
二	思	る	が	く	愛
ねん	っ	こ		ん	な
きだ		と	ぼ		る
きゆう	て	を	く	ぼ	
なまえ	い		の	く	が
	ま	う	の	は	ま
	す	れ	親		が
			友		が

がっこう	そ	の	も	
	ぎ	木	も	か
一	ん	み	い	ぜ
ねん	ち	た	ろ	に
きだ	や	い	の	
ゆうん	く	な		ゆ
なまえ	。		や	れ
		い	し	る

がっこう				
	つ	い	し	
	て	っ	ま	お
ほ		ぱ	し	い
ねん		い	た	も
きだ	い			ほ
ゆう	ま			り
なまえ	し	っ	っ	を
	た	ら	る	
		な	に	

祖詠「蘇氏別業」

通訳

別業居幽處

別業べつぎょう 幽處ゆうしよに居る

蘇氏の別荘は人里離れた静かなところにある。

到來生隱心

到來らい 隱心いんしんを生ず

ここへ来ると、隠居して暮らしたいという気持ちになる。

南山當戸牖

南山なんざん 戸牖こゆうに当たり

戸口と窓からは終南山が正面に見える。

澧水映園林

澧水ほうすい 園林えんりんに映ず

澧水の川は園林を映して流れている。

竹覆經冬雪

竹は覆おおう 冬を經へる雪

冬越えの雪が竹藪に覆われて残っている。

庭昏未夕陰

庭は昏くらく未いまだ夕ゆふべならざる陰かげ

まだ夕方にもならないのに庭は薄暗い。

寥寥人境外

寥寥りょうりょうたり人境じんきやうの外ほか

この人里離れたひっそりとした場所に

閒坐聽春禽

閒坐かんざして春禽しゆんきんを聴く

私はのんびりと座り、春の鳥の鳴き声に耳をすませている。

不用開 不用開 不用開 不用開

書帙 書帙 書帙 書帙

東在土

星灰土

紫陽

吉孝

不用開 不用開 不用開 不用開

書帙 書帙 書帙 書帙

錦月之

秋林

竹の

其純

不用開 不用開 不用開 不用開

書帙 書帙 書帙 書帙

子ゆ

赤筆

キン子土

幸子

不用開 不用開 不用開 不用開

書帙 書帙 書帙 書帙

吾妻 平師 大河 芳持

道次

仲枝 乙

隆光 書

不用開 不用開 不用開 不用開

書帙 書帙 書帙 書帙

太子 乙

星山 乙

圭子 乙

須州

蛸虫 乙

(一段目) 北代碧山 選評
 惠花君 〓 明るく基本に徹し好感のもてる書。

皓月君 〓 真面目な書。明るく整正。處艸君 〓 基本に忠実にして布置巧み。花梢君 〓 よく整つていてよい仕上がりのや、形にとらわれすぎでは？

仁子君 〓 流れは良い。終りのハネを強くすると一層よくなるだろう。

(二段目) 森本瓊象 選評
 里花君 〓 力強い線で堂々と書けている。が、墨色悪し。秋桜君 〓 整つた作品で線に丸みもある。

康華君 〓 落着いて安心できる作品だが、線の食い込みが不足。道代君 〓 しっかりとゆつたりと書けた。この調子で。

里仙君 〓 線に今一つ力強さが欲しい。ご加勉を。岡崎緑水 選評
 (三段目) 紫陽君 〓 丁寧な筆使いで落ちつきあり佳。

竹山君 〓 基本に忠実でよいが、少し大らかさもほしい。キン子君 〓 屈託なく堂々として迫力を感じる。

仲枝君 〓 力みなく濃厚で明るい作。圭子君 〓 強い線で伸びよく書けている。

(四段目) 野島桂山 選評
 吉孝君 〓 堂々とした作品。美紀君 〓 落ちついてよくまとめている。

幸子君 〓 全体に墨つげすぎですが、よく書けています。隆光君 〓 力みなく練質に味わいあり。千歩君 〓 魅力ある作品。

平 復 氏 平 復 氏 蓋 聞 二 基 乎
 芝 之 可 芝 之 可 儀 有 西 出
 田 邊 氏 平 復 氏 平 復 氏 草 木
 奉 比 芝 之 可 芝 之 可 萌 動
 昔 人 興 平 復 氏 才 明 人 基 乎
 感 之 芝 之 可 宗 摸 西 出
 平 復 氏 平 復 氏 家 之 信 乃
 芝 之 可 芝 之 可 予 以 見 始 位
 球 安 平 復 氏 有 感 於 平 復 氏
 云 物 芝 之 可 斯 文 芝 之 可

美津子君

千歩君

千歩君

(一段目) 出間桂堂 選評
 皓月君 大胆な運筆は可。少し重た
 い。
 邦心君 運腕自在で流れよし。
 躍翠君 気負いなく温和な作。
 令泉君 動き良く章法もよい。
 美津子君 ふところ深く堂々として
 いる。
 (二段目) 大黒仙雲 選評
 千歩君 気分は激しいが線は少し荒
 れ気味。
 美賀君 毛先は鋭いが大らかさがほ
 しい。
 宏子君 転法は鋭いがもう少し大ら
 かに。
 貴志子君 のんびりと角なく書けた。
 明子君 線深く平凡に書けた。
 (三段目) 梅川桂龍 選評
 紫陽君 柔らかな線質で流れが良い。
 絢子君 潤喝・強弱共に良い。
 竹山君 強い線で字々生きている。
 翠 君 流れ良くまとまっている。
 久美子君 紙に喰い込んだ線は魅力。
 (四段目) 前田秀華 選評
 千枝君 堂々とした聖教序です。
 彩華君 自然な運筆で好感が持てま
 す。
 幸三君 無理なくものにして骨力を
 見る。
 美紀君 温和で良く整った作。
 千歩君 少し荒々しいですが、これ
 からが楽しみです。

紅葉秋

深し

高理想

高理想

聞き

紅葉秋

深し

高理想

高理想

聞き

天下

高理想

高理想

聞き

天下

高理想

聞き

聞き

天下

高理想

聞き

聞き

天下

高理想

聞き

世界の

(一段目) 中学部
武内美仁 選評

絵 君 流れよく、気持ちよく書けています。

薫佳君 落ち着いて良くまとまっています。

那羽君 強い線で力強い。

悠月君 バランス良くまじめに書けています。

凛 君 筆が良く立ち、すなおな作品です。

心春君 すこし字が小さいけれど、明るく大変良いと思います。

(二・三段目) 小学六年 岡林邦心 選評

美羽君 いていねいに良くまとめている。

彩巴君 伸び伸びとして良い。

楽人君 きびきびとしたよい作品。

瑠菜君 ゆつたりとして良い。

芽途君 気持ちよく書けた。

來美君 大らかで良い。

亜依君 きびきびとして良い。

愛優君 ゆつたりとして良い。

青海君 素直な作で良い。

(三・四段目) 小学五年 塚地桂峰 選評

英乃玲君 落ちつきのある作。

彩詠君 力強くて明るい。

虎之介君 堂々とした作。

夕苺君 線がのびのびとして良い。

りんか君 良くまとまっている。

颯 君 力強く良くまとまっている。
直亮君 線が力強く堂々としている。
じゅり君 堂々としていて良い。

(四段目) 小学四年 佐々木港花 選評

世界の 世界の 外交 外交 大きく 大きく
長小 四年 五城 浩
須南 三年 竹内 昭雄
長小 二年 長山 美利
二年 小宮 隆子

世界の 世界の 外交 外交 大きく 大きく
長小 四年 小松 とも
須南 四年 宇江 弘
長小 三年 上村 彰月
長小 二年 川田 悦子

世界の 世界の 外交 外交 大きく 大きく
長小 四年 白石 繁
浦内 三年 正木 布実
長小 二年 川上 紗奈
二年 ふじはら おとほ

世界の 世界の 外交 外交 ひとつ ひとつ
長小 四年 川崎 弘子
須南 三年 山田 真音
須南 二年 福永 瑞子
小一 もりゆつ 安子

世界の 世界の 外交 外交 ひとつ ひとつ
長小 四年 西村 敏子
須南 三年 月谷 天寿
長小 二年 岡村 昭彦
長小 二年 森田 千春
小一 みやじらいと

世界の 世界の 外交 外交 大きく 大きく ひとつ ひとつ
長小 四年 長岡 史郎
須南 三年 月谷 天寿
長小 二年 岡村 昭彦
長小 二年 森田 千春
小一 みやじらいと

(一段目)

陸 君 落ちついて書いています。
さとみ 君 元気があります。

葵 一 君 ゆっくり落ちついて書いています。
ひなほ 君 界はすばらしいです。

柚季 君 元気に書いています。
紗己 君 線の太さがたありません。

雄星 君 まじめに書いています。
はな 君 落ちついて書いています。
(二・三段目) 小学三年 形もいいです。
大八木 洋女 選評

希実 君 しっかりと書きました。
真音 君 形良くまとまっています。

天海 君 いてねいに書いています。
枇茉莉 君 さいごまでいてねいだと、もつと良くなる
と 思います。

英美利 君 落ちついて書きました。
彩月 君 力強く書いています。

紗奈 君 上手に書いています。
璃子 君 のびく書いています。

朋乃 佳 君 力強くバランス良くまとめています。
(三・四段目) 小学二年 市原 處 艸 選評

千春 君 紙面いっぱい、形良く書きましたね。すばら
しい。

ひなこ 君 しっかりとした筆づかいで、ていねいに書
けています。よくがんばっているね。

せいば 君 「きん」も、形もよく堂々とした作品で
す。

おとは 君 ゆつたりとおちついて書いています。形も
良い。

(四段目) 小学一年 ようち・ほいく 中平 美峰 選評

ひな 君 どうぞとかけました。
そう 君 のびやかにかけています。

らいと 君 元気にかけました。「と」がじょうずです。

南 森光 美羽
一ツ橋 田岡 芽途

人間がみんな人間らしい生き方ができる社会、それだけに心が通い合うような世界が、宮沢賢治の夢であり、追求めた理想だった。
：南 六衛生 二〇〇 森光 美羽

人間がみんな人間らしい生き方ができる社会、それだけに心が通い合うような世界が、宮沢賢治の夢であり、追求めた理想だった。
：一ツ橋 六 九〇 田岡 芽途

人間がみんな人間らしい生き方ができる社会、それだけに心が通い合うような世界が、宮沢賢治の夢であり、追求めた理想だった。
：舟入 六 八〇 西野 文那

人間がみんな人間らしい生き方ができる社会、それだけに心が通い合うような世界が、宮沢賢治の夢であり、追求めた理想だった。
：久重 六 六〇 武林 青海

舟入 西野 文那
久重 武林 青海

須崎 小川 紗良
多ノ郷 弘瀬英乃玲

人間がみんな人間らしい生き方ができる社会、それだけに心が通い合うような世界が、宮沢賢治の夢であり、追求めた理想だった。
：須崎 小六 二〇〇 小川 紗良

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。
：多ノ郷 五 九〇 弘瀬 英乃玲

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。
：浦内 五 七〇 矢野 絵理奈

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。
：久重 五 五〇 小笠原 颯

浦ノ内 矢野絵理奈
久重 小笠原 颯

長岡 永尾 真尋
浦ノ内 上田梨里香

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。
：長岡 小五 四〇〇 永尾 真尋

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。
：浦内 五 三〇〇 上田 梨里香

中山様のおしろの下を通って、少し行くと、細い道の向こうから、だれか来るようです。チンチロリン、チンチロリンと松虫が鳴いています。
：新莊 四 九〇 鍋島 祐里花

中山様のおしろの下を通って、少し行くと、細い道の向こうから、だれか来るようです。チンチロリン、チンチロリンと松虫が鳴いています。
：秦 四 八〇 玉城 陸

新莊 鍋島祐里花
秦 玉城 陸

一ツ橋 川崎陽菜穂
一ツ橋 グラント花

中山様のおしろの下を通って、少し行くと、細い道の向こうから、だれか来るようです。チンチロリン、チンチロリンと松虫が鳴いています。
：一ツ橋 四 七〇 川崎 陽菜穂

中山様のおしろの下を通って、少し行くと、細い道の向こうから、だれか来るようです。チンチロリン、チンチロリンと松虫が鳴いています。
：一ツ橋 四 六〇 グラント 花

中山様のおしろの下を通って、少し行くと、細い道の向こうから、だれか来るようです。チンチロリン、チンチロリンと松虫が鳴いています。
：夜須 四 五〇 西村 柚李

みそを作るには、おしりた米が麦にコウジカビをませたものを用意します。それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。
：多ノ郷 三 六〇 橋田 茉奈

夜須 西村 柚李
多ノ郷 橋田 茉奈

硬 筆 優 秀 作 品

須崎 前田真音
谷 愛莉

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをまぜたものを用意します。それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。
須崎三・五〇、前田真音

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをまぜたものを用意します。それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。
須崎三・五〇、谷 愛莉

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをまぜたものを用意します。それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。
須崎三・初〇、岡村朋乃佳

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをまぜたものを用意します。それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。
波介三・四〇、福永璃子

一ツ橋 岡村朋乃佳
福永 璃子

くれ 中ひら千友
林 まりの

本を 読みましよ
う。 読んだ あとで
友だちに お話を
しようかいでする。カ
ードを書きましよ。
くれ二・三〇、中ひら千友

本を 読みましよ
う。 読んだ あとで
友だちに お話を
しようかいでする。カ
ードを書きましよ。
くれ二・三〇、林 まりの

本を 読みましよ
う。 読んだ あとで
友だちに お話を
しようかいでする。カ
ードを書きましよ。
長岡二・初〇、やすいふき

本を 読みましよ
う。 読んだ あとで
友だちに お話を
しようかいでする。カ
ードを書きましよ。
上分二・〇〇、西森はるひ

長岡 やすいふき
上分 西森はるひ

甲浦 川田せいば
しんじょう なべしまそう

本を 読みましよ
う。 読んだ あとで
友だちに お話を
しようかいでする。カ
ードを書きましよ。
甲小二・四〇、川田せいば

トラックは、に
もつを はこぶ
しごとを して
います。
とんじょう二・二〇、なべしまそう

トラックは、に
もつを はこぶ
しごとを して
います。
うらノ内一・初〇、みやじらいと

トラックは、に
もつを はこぶ
しごとを して
います。
みかさ一・一〇、かわぶちゆい

うらノ内 みやじらいと
みかづき かわぶちゆい

一ツばし うじはらいちの
うらノ内 矢野 そうま

トラックは、に
もつを はこぶ
しごとを して
います。
つばし二・一〇、うじはらいちの

トラックは、に
もつを はこぶ
しごとを して
います。
うらノ内一・四〇、矢野そうま

トラックは、に
もつを はこぶ
しごとを して
います。
うらノ内一・三〇、ふじ田ゆあ

まんまるい お
つきさまが いけ
に うつって ゆ
れていきます。

うらノ内 ふじ田 ゆあ
ながおか もりたみさき

令和2年度(2020) 月例審査会場

月 日	場 所	
1月26日(日)	○高知会館	8:30~12:00
2月23日(日)	高知城ホール	
3月7日(土)	高知城ホール	昇段試験準備
8日(日)	高知城ホール	昇段試験
22日(日)	高知城ホール	
4月26日(日)	高知城ホール	
5月24日(日)	○高知会館	9:00~17:00
6月21日(日)	高知城ホール	
7月12日(日)~19日(日)	高知城ホール	龍跳展搬入・会期
7月19日(日)	高知城ホール	龍跳展打ち上げ
26日(日)	高知城ホール	
8月23日(日)	高知城ホール	
9月5日(土)	高知城ホール	昇段試験準備
6日(日)	高知城ホール	昇段試験
27日(日)	高知城ホール	
10月25日(日)	高知城ホール	
11月22日(日)	高知城ホール	
12月27日(日)	高知城ホール	13:00~
27日(日)	高知城ホール	忘年会

☆龍跳展会期 7月12日(日)搬入

7月13日(月)~19日(日)に決まりました。

(出品票)

のり代

2年
1月
毛筆

校

名

保

学

年

氏

名

段

級

のり代

2年
1月
硬筆

校

名

氏

名

段

級

新年試筆作品について

出来るだけ多くの方の出品をお願いします。

記

締切日 12月22日（日）（審査日当日受付）

出品料 5,000円

※審査会に出席されない場合は、どなたかに預けて下さい。

試筆作品出品票

整理No.

積文

姓
号

(多字数は二十文字まで)

※一月(二月号)の送本は一月十五日(水)を予定しています。
※新年試筆作品には左の出品票を作品左下に貼って下さい。

◎掲載後、作品をお返ししますが、後に表装される方は、

貼り付けずにクリップでとめておいて下さい。

◎姓号と積文は作品横に載せますので、左の出品票は楷書で

正しく書いて下さい。

◎紙はなるべく白を使って下さい。(文字がはつきり写ります)

第41回畫心会風景



(令和元年11月)

12月22日(日)の予定

- 新年試筆作品受付
- 午後一時～審査会
- 審査終了後、直ちに忘年会

(会費 三,〇〇〇円)

★女流展作品下見会並びに諸作品
勉強会を行います。

ぜひ、ご参加下さい。

- ・ 1/26 (日) 審査会終了後
- ・ 2/23 (日) 審査会終了後

春季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

(楳花 唐 張籍)

邊地鶯花少 年來未覺新

美人天上落 龍塞始應春

辺地鶯花少なり
美人天上より落つ
年來れども未だ新なるを覺えず
龍塞始めて応に春なるべし

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ草書千字文より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓を明記すること。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

居身百尺樓上、放眼萬卷書中

(陳牧)

身は百尺の樓上に居り眼は萬卷の書中に放つ

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ草書千字文より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓を明記すること。

。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

知足者仙境

足を知る者は仙境

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。

。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。

。当選者は初段以下相当級位に認定編入する。

△出品料 師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。

潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳一月号掲載(一月二十日締切)の課題字句とします。

。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳一月号(一月二十日締切)の課題字句とします。

。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

△作品の締切 令和二年三月五日(木) 必着のこと。

△審査日時 令和二年三月八日(日) 午前九時三十分より

△審査場所 高知城ホール

△受験作品送付先 〒七三三〇〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

④ 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

お知らせ

● 第65回安芸市展

無鑑査

大黒仙雲
福原暁雲
松下紫香

● 第56回高南台地総合美術展覧会

無鑑査

森本瓊象
熊谷晚象
中城康華
堀内仁峰
笠原多嘉
廣田香翠
中城知抄
岡田吏恵



連絡・問い合わせ・送り先等

- ・新規入会申込と会費の送金先
- ・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三二一

隅田亘心

龍跳誌部

龍跳誌部

016900-3-31925

電話(〇八八九)三五〇九七一番

- ・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八)八六五―八八五七番

- ・「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六―二九

廣末幽念

電話(〇八八七)三八一五二〇八番

- ・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九)四二一三〇六七番

- ・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九)四七一〇七二一番

あとがき

○本年も十一月一日から三日間、須崎市民文化会館で画心会書展を実行委員会で開催し、四十一回を数えた。出品数は創始者の町田先生をはじめ故人三名、審査員三名を含めて四十点、会場には生花も数多く添えられ、ますます見応えのある書展となったと参加者一同自負している。

須崎市長、幽玄斎、湖筆堂、町田喜代子様から賞の提供を受け、また廣末会長はじめ龍跳書道会の十一名の先生方から金一封、お花、お菓子等々のご支援もいただきました。ありがとうございます。

○日にく寒さも増し、インフルエンザも流行期に入っています。身体にはくれぐれも気を付けましょう。

月例競書課題

保 育	" 一年	" 二年	" 三年	" 四年	" 五年	小学六年	" 一年	" 二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別
													縮切日
こ ま ひ る	か る た つ	白 い 雪	成 人 の 日	清 き 願 い	天 然 の 美	冬 期 休 暇	希 望 の 天 地	任 意	任 意	故 人 京 洛 滿	任 意	一 月 二 十 日	縮 切
		あ ら 海	春 の 小 川	話 し 合 い	卒 業 の 歌	給 食 当 番	印 象 的 な 話	任 意	任 意	何 日 復 同 遊	任 意	二 月 二 十 日	縮 切

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ③+Ⓐ=290円×月数
 17冊 ③+Ⓑ=360円×"
 30冊 ③×3=630円×"

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
(有)笹岡印刷所	龍跳書道会	廣末幽念(本部)	廣末幽念
須崎市東古市町二一六	電話(〇八七) 三八一五二〇八	安芸郡田野町一四五六―二九	北代碧山
電話(〇八九) 四二一〇二四四		電話(〇八七) 三八一五二〇八	野島桂山
			前田秀華
			江西澄翠
			中平美峰

月例作品送り先
 〒783-0081 南州市片山四九〇
 西山極山 宛
 電話(〇八八) 865-8857